

# MOVE YOUR HEART!

進路通信第6号

夏季休業が明けました。いかがでしたかこの夏は。

1、2年生のみなさんが課題テストを楽しみに登校したとすれば、素晴らしいことですね。そこまではいなくても、友達に話したいことがたくさんある人はうらやましいですね。さらに進路からの「宿題」をおぼえていて、14時間勉強した日のこと、スマホに一切触らなかった日のこと、家族の夕食をすべて賄った日のことを友達や先生と話してくれる人がいれはうれしいのですが。それとも「今年もなんとなく終わってしまった」ですか。ツクツクボーシの声を聞くとたそがれてきますね。そんな人は次の目標を作って上向きのベクトルに修正しましょう。

3年生のみなさんにとっては「高校生活最後の夏休み」でしたね。自分の目標は達成できましたか。「なんとなく」ではなかったことを祈るばかりです。後悔に暮れている人は全統記述や就職試験で目を覚ましましょう。

さて、来週末は文化祭です。

「文化祭」は大人になってやり直せるものではなく、学生時代ならではの（しかも高校生ならではの）イベントです。意見が衝突したり、焦ったり、失敗したりしながらも全員でなんとか「成功」にもっていこうとする、その過程も結果もすべて大切な思い出になることでしょう。思い切り取り組んでください。今だけです。

さあ、武義高が一番盛り上がる時を迎えます。

## 《当面の進路に関する行事（一部既報）》

- 8/24（木） 始業集会 課題テスト
- 25（金）～30（水） 1～3限授業 4～6限学校祭準備
- 25（金） 指定校推薦開示
- 26（土） 3年第2回全統記述模試
- 31（木） 学校祭
- 9/ 1（金） 学校祭
- 7（木） 3年生進路ガイダンス（出願説明）6限
- 8（金）10（日） 3年ベネッセ駿台共テ模試**
- 10（日） 全商英語検定
- 15（金） 第1回進学校内推薦会議
- 16（土） 就職試験開始
- 24（日） 全商情報処理検定
- 26（火）～29（金）前期期末考査

## 《情報交換のすすめ》

夏休み中に進路に関する活動をした人は多いと思います。ぜひ情報を共有してお互いの利益にしてください。自分が得た情報が誰かの役に立てば、という姿勢でいてください。情報があふれる時代にあって、「直接知り得た情報」は貴重です。狭い見ではなく仲間意識をもちましょう。

## 《雑感》

毎朝ラジオ体操があるせいで夏休みは早起きだった。朝食の後は近所の友達の家を集まって「夏の友」をやって（実際は勉強を口実に「夏休み子ども劇場」のテレビを見たおして）、午後はみんなで学校のプールへ。たっぷり道草して家に帰ったあとは昼寝。怪談を見たり、夕立にビビったりしているうちに親が帰ってきてあとはいつもの夜。毎日その繰り返しだった。

ラジオ体操とプールの出席スタンプで賞状がもらえるのと、みんなで海水浴に行き、民宿に一泊できるのが楽しみだった。「夏の友」は楽勝だったが「自由研究」には毎年泣かされた。始業式の前の晩に「風呂水の沸き方」を「研究」してしのいだこともあった。「毒素感想文」いや「どクソ感想文」いやいや「読書感想文」も苦痛だった（私は国語教師）。

これらはすべて昔の話。

猛暑でとても外では遊べない。川遊びは水難事故が怖いし、人が集まればコロナも怖い。加えて今年は豪雨もあった。夏休みに外で遊んでいる子どもたちを見かけることはほとんどなくなった。子どもたちは何をしているのだろう。夏休みは本当に「休む」ためだけに存在する期間になったのか。エアコンの効いた部屋で終日ゲーム三昧？もしくは塾で缶詰？

「昔はよかった」という話がしたいのではない。

子どもにとってこれまであった「夏休みの意義」を、今では求めることができなくなったということなのだ。学校に空調があるのだから夏に室内で授業をして、外での活動に向く時期に長期休みを設ける、という案も議論されるかもしれない。学生のスポーツ大会やイベントにとっても好都合であろう。その一方で屋外で働く人にとっては夏こそ休みが必要だし、行事や伝統、経済や政治との関連もある。簡単な問題ではないことはわかっている。が「例年通り」とばかりに保守的でいられないほどの状況であるのも確かだ。

ヨーロッパでは夏が最もよい季節で、大半の人が1ヶ月ほどのバカンスをとる。一番いい時期だから自分のしたいことをするために休みにする、ということだ。学校もスポーツも含めて経済活動は停滞する。オフシーズンに人々は南欧でのんびり（貧富にかかわらず）、というパターンが多いそうだ。が、毎年のような熱波でそのパターンが怪しくなってきた。合理性が優先する彼の地の人々がこれから先どんな対応をするか注目したい。

## 《おまけ》

「自由研究」はとにかく苦手だった。朝顔やヘチマの生育記録をまとめた友達の作品がまぶしかった。自分は二日目には観察を忘れていた。なんとか1日でできる「研究」はないか。

「蜘蛛の巣のはり方観察」に挑戦した。蜘蛛は一晩で巣を作る、と知って意気込んだ。部屋のスタンドを外にセットして夜を待った。30分ごとに見に行った。蜘蛛は警戒して動きがない。眠気に負けていつの間にか寝てしまった。次の日は5時に起きてみた。もう巣はできあがっていた。あとがない。庭の蜘蛛の巣を破壊しまくり、たっぷり昼寝をし、姉に起こしてもらって3時から観察した。未明に巣を作り始め、30分後に見に行くと半分以上できていた。見続けていると結構なスピードで完成されていく。カメラがないので適当にスケッチして終わらせた。蚊の餌食になった。

文房具屋でリトマス試験紙を買った。片っ端から調べた。B紙にセロハンテープで貼り付けた。休み明けに提出するときにはセロハンテープの成分で、全部同じ色になっていた。

先日偶然「自由研究55」（0655、2355の兄弟版）という番組を見た。スマホを効果的に使い、いまどきな感じで楽しそうだった。今ならできるかな、と思いかけて打ち消した。

\*「夏の友」「B紙」はローカル色の強い語ですが、あえて使用していますのでご了承ください。